



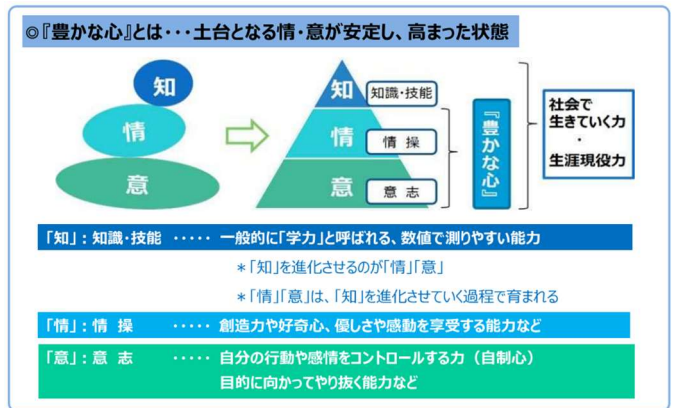
川越町立川越中学校
学校だより 第4号
令和8年 5月7日



<http://www.school-kawagoe.ed.jp/kawagoe-j/>

いまだきの『学び』 ~ AIと「非認知能力」 ~

AI (ChatGPT) が、東京大学の入学試験問題を解いたところ、文系教科で452点、理系教科で503点を取り、実際に受験したすべての生徒の得点を上回り、最高点となりました。数学では満点、英語は9割。2年前は、AIは不合格の結果だったため、この2年間で大きく成長(進化)したことになります。世の中の動きの速さには、本当に驚かされます。一方で、世界史などの論述問題は不得意で得点は2.5割だったそうです。ただ、これも時間の問題で、近いうちにAIが超えていくでしょう。なぜなら、AIは、正解のある問題には強いからです。将棋の世界(電脳戦)では、「角」駒が敵陣に入ると「竜馬」(=「角」より強くなる)に成りますが、対戦したプロ棋士がわざと成らずにそのままにした結果、AIが負けたということがありました。AIは、これまでの世界中の大量のデータから(もっともらしい)答えを探し出します。予想外のことや未知のこと、正解がない問題・課題については、人間の力の方が勝ります。また、AIの発展から、近年、アメリカでは、事務・営業・管理職等の主にデスクワークのホワイトカラーと呼ばれる職業よりも、ブルーカラーと呼ばれ、製造業や建築業等の主に身体を使い、かつ専門的な知識・技能を持っている職業の人気の高まっています。



川越町では、点数ではかることのできない「非認知

「川越町教育基本方針」より

能力」と言われる力の育成も大切にしています。創造力、好奇心、優しさ、自制心、粘り強く取り組む姿勢などなど。川越中学校でも、知識や技能の育成は当然ですが、日々の学校生活や行事等で、非認知能力の育成にも努めていきます。



4月28日(火) ~ 5月1日(金)
スポーツテスト [学年別]